

平成31年度 学校自己評価システムシート (県立日高高等学校)

目指す学校像	「地域の期待に応え、社会で活躍できる生徒を育てる学校」
--------	-----------------------------

重点目標	1 授業改善を進め、基礎学力の向上を図る 2 基本的な生活習慣を確立させ、豊かな心身を育む 3 組織的・計画的な進路指導を充実させ、一人ひとりの進路実現を図る 4 地域・保護者との連携を深め、開かれた学校づくりを推進する
------	---

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	2名
	事務局(教職員)	7名

学 校 自 己 評 価				学 校 関 係 者 評 価			
年 度 目 標			年 度 評 価 (1 月 3 1 日 現 在)				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	【現状】 アクティブラーニングを取り入れた授業改善が進みつつあり、授業に満足している生徒の割合は、向上しつつある。資格取得に向けた補習体制が整い、生徒は各種検定合格に向けて努力している。 【課題】 昨年度配置されたタブレットやプロジェクターを活用した授業づくりを進める。基礎力診断テストを活用し、学習到達度を的確に把握し、生徒の実態に即した授業展開をより一層推進する。部活動については、部員が定着するように部活動活性化への方策を検討する。	学習意欲を高め、基礎学力を向上させる。	①教員相互の授業観察や研修会を通じて教員の授業力を向上させ、生徒の基礎学力の定着を目指す。 ②朝学習、タブレット、学習サポーター、全クラス配付の新聞4紙を活用して、学ぶ意欲を育成する。 ③年2回の学校評価アンケート(6月、12月)を実施し、経年変化を調査する。 ④学びの基礎診断の一環で、基礎力診断テストを活用し、学習到達度を把握し、個に応じた指導をさらに充実させる。	①授業公開や研修会を実施できたか。授業満足度80%以上を達成できたか。 ②朝学習の実施状況。タブレット・学習サポーター・新聞を活用できたか。 ③「授業がわかる」、「授業に満足」の回答80%以上。 ④基礎学力がどれくらい伸びたか。	①8月のアクティブラーニング研修会、11月の未来学び研究授業を通して、授業力向上に取り組んだ。 ②朝学習、学習サポーターを効果的に活用できた。タブレットも多くの授業で活用できた。 ③「授業が分かる」、「授業に満足」の回答は、それぞれ84%、77%。 ④基礎力診断テストを用いて伸長度を計測した。生徒向け研修会も実施できた。	A	【課題】 基礎学力の向上、探究型学習の推進が課題。 【改善策】 今年度新たに組織した学力向上プロジェクトで、基礎学力の向上、総合的な探究の時間の内容を検討していく。
		生徒に積極的な学校生活を送らせ、高校生活の満足度を85%以上にする。	①各種検定試験に挑戦させ、達成感と向上心を育成する。 ②部活動や生徒会活動、学校行事に積極的に取り組み、生徒の自立心と協調性を育成する。 ③部活動の加入率約60%を維持する。また、運動部は年間を通して単独で大会に出場する。	①検定試験の受験状況、資格取得状況。 ②学校生活への満足度が上昇したか。保護者の満足度95%以上を維持できたか。 ③年間を通じて加入率約60%を維持できたか。各種大会に単独チームで出場できたか。	①全商主催の検定において1級合格者を複数輩出した。英検準2級合格者も輩出した。 ②本校への満足度は生徒約80%、保護者約93%で昨年度とほぼ同じ。 ③部活動加入率は、6月時点で64%が12月に57%に減少した。運動部、文化部共に活性化しつつある。剣道部、バレー部が復活することになった。	A	【課題】 資格取得に向けた生徒の動機付けをしっかりと行う。一度入部した部員が定着するように、実態に即した指導を継続させることが課題。 【改善策】 生徒の動機づけ、意識づけをしっかりと行う。部活動顧問、担任が協力して部員定着に向け、指導する。
2	【現状】 落ち着いた生活環境は整いつつある。また、多くの社会貢献活動を実施し、地域への貢献も行っている。 【課題】 遅刻が多い生徒は減少しつつあるが、さらに段階的・組織的に指導を徹底する必要がある。また、多くの社会貢献活動を実施できたが、今後は自己有用感を持たせられるように活動していく。	基本的な生活習慣を確立させ、規律ある態度を身につけさせる。	①挨拶励行・時間厳守・整理整頓の目標を教室に掲示し、規律ある生活態度を育成する。 ②朝の挨拶運動を継続し、あらゆる場面で挨拶ができる生徒を増やす。 ③TPOに応じた服装指導等を学校全体で行う。	①「ルールを守らせる指導」、「整理整頓」の回答90%以上。 ②教員は毎日、生徒会は週2回の挨拶運動ができたか。「挨拶をする」の回答90%以上。 ③登校時、全校集会時に実施できたか。	①「ルールを守っている」、「整理整頓」できているの回答は、それぞれ88%、83%。 ②朝の挨拶運動は毎日実施できた。「挨拶をする」の回答は、80%。 ③生徒指導部を中心に各学年と連携し、組織的・段階的に実施できた。	A	【課題】 遅刻者は減少傾向にあるが、基本的な生活習慣の確立に向けて引き続き努力が必要。 【改善策】 登校指導、HR指導、全校集会等を通じて継続的に指導する。
		体験活動や社会貢献活動に積極的に参加させることにより、生徒の豊かな心身を醸成する。	①市や市商工会からのボランティア要請には、できるだけ応え、多くの生徒が地域に貢献できるようにする。 ②地元小学校との交流や見回り活動を年2回実施する。	①生徒全員が何らかの社会貢献活動に参加できたか。 ②小学校との連携回数とその内容。	①地域清掃活動に、全校生徒で取り組むことができた。(各学年、学期ごとに実施)日高市などの要請を受け、社会貢献活動に生徒を派遣できた。 ②高萩北小学校の下校見守り活動を年2回実施できた。	A	【課題】 要請に応じて社会貢献活動を実施できたが、参加者が固定化する傾向がある。 【改善策】 年間計画をクラスに掲示し、興味のある活動には早めの応募を呼びかける。
3	【現状】 各学年とも計画的かつ組織的に指導し、進学準備、自己開拓による求職者を除きほぼ全員の進路を確定できた。 【課題】 進路に対する意識が希薄な生徒がいる。将来働くことへの意識を高め、個に応じた進路指導を徹底する。	計画的・組織的な進路指導により、生徒全員の進路実現を目指す。	①3年間を見通した進路計画を策定し指導をしているが、さらに見直しを図りながら生徒に適した進路指導を実施する。 ②キャリア教育講演会を実施し、生徒の進路意識を向上させる。 ③保護者対象の進路行事や情報発信を工夫することで、家庭の理解や協力をさらに強固にする。 ④生徒をオープンキャンパスや合同企業説明会に積極的に参加させる。	①計画的かつ組織的に指導できたか。進路未定者がゼロに近づいたか。 ②内容のある講演会が実施できたか。 ③文書や一斉メールを活用できたか。 ④参加人数とその内容。	①進路指導部と学年が連携し、全員の進路を決定できた。 ②企業や市議会議員の協力を得て、生徒の満足度の高い講演会を2回実施できた。 ③文書や一斉メールを活用し、保護者の行事参加を促した。 ④企業や大学等の見学ツアー(進路行事)を実施、多くの生徒を説明会等に参加させた。	A	【課題】 早い時期から自分の進路について考えさせ、学年全体で統一した指導を実施することが課題。 【改善策】 1年生のうちから計画的に進路指導を行い、生徒自身に自分の進路を考えさせる契機をつくる。講演会を活用し、人生について考えさせる機会をつくる。
		保護者の本校への理解度を向上させ、PTA活動をより充実させる。	①PTAだよりを年3回発行し、保護者への広報に努めるとともにホームページにも掲載する。 ②保護者会等あらゆる機会を通じて、一斉配信メールへの登録を呼びかける。 ③PTA理事会を通じて保護者同士のネットワークを構築し、保護者の学校行事への支援と参加を呼びかける。	①PTAだよりの発行状況。ホームページへの掲載状況。 ②一斉配信メール登録者70%以上。配信回数年間50回以上。 ③昨年度と比べて参加者が増加したか。	①PTAだよりを年3回発行できた。 ②一斉配信メール登録者70%、配信回数は年50回を超えた。行事や定期考査、長期休業の前後に配信し、保護者への協力依頼ができた。 ③体育祭、文化祭等の学校行事に昨年度より多くの保護者が来校した。PTA活動は活性化している。	A	【課題】 学校行事への参加者は増加した。PTA総会や学年別懇談会の出席者を増やすことが課題。 【改善策】 PTA役員同士のネットワークはできている。役員以外の保護者へも一斉配信メール等により参加を呼びかける。
4	【課題】 学年別懇談会、PTA総会等の行事を、安心メールや通知により周知し、参加者を増やす。学校説明会の内容をさらに充実させたり、出前授業や公開講座を積極的に実施したりして、志願者確保に向けた取組を行う。	積極的な情報発信により、本校の今を正しく伝え、理解度を高め、志願者数を増やす。4年連続入試倍率1倍超を実現させる。	①ホームページの内容を充実させ、更新回数年間300回、アクセス数1日平均950件を目指す。また、「日高高校だより」年6回発行を目標とする。 ②学校説明会・体験入学会・イベントミーティングを計9回実施する。また、進学フェア等へ積極的に参加し生徒募集につなげる。 ③授業公開、出前授業、公開講座を実施し、地域や地元小中学校との連携を深めることで、本校の理解度をさらに高める。	①学校全体で協力し達成できたか。 ②学校説明会等への参加者が増加し、参加満足度が高まったか。 ③各取組の実施状況とその内容。	①更新回数は年間250回程度、アクセス数は1日平均1000件を超えた。 ②学校説明会等への参加者数は、昨年度よりやや減少したが、複数回出席する受検生や保護者が多く出た。 ③授業公開、出前講座、公開講座は例年通り実施できた。8月に市内小中学校、短大との合同研修会が実施でき、地元の連帯感を高めることができた。	A	【課題】 ホームページをこまめに更新すること。学校と地域の双方にメリットがある活動を行うことが課題。 【改善策】 ホームページに、学年行事や日々の変化を記事として掲載するなど、より一層こまめに更新する。日高市や近隣の学校との連携を深め、志願者の増加に努める。

学校関係者評価	実施日 令和2年2月12日
学校関係者からの意見・要望・評価等	○生徒の授業態度が良くなっている。 ○授業中に、生徒同士が教え合っている様子が見られた。生徒の学びを深める指導を期待する。 ○就職、進学いずれの進路を選ぶにしても、授業にしっかり取り組ませることは大事である。 ○生徒が難しい課題に対して、あきらめずに取り組む姿が見られた。
	○教室内が整理整頓されている。 ○整容指導が行き届いている。 ○地域の行事にも生徒が積極的に参加している様子が伺えた。
	○授業にしっかり取り組みませ、生徒の進路実現に向けてより一層頑張ってもらいたい。 ○1年生の時からしっかりと進路指導に取り組んでいることが理解できた。
	○PTA役員の活動が活性化している。 ○先生方の働き方改革も含め、部活動の活動指針等がより保護者に伝わるようにできるとなお良い。 ○ホームページに掲載されている学校の取組が、さらに周知できると良い。